

6-1 基本方針1 高齢者の多様な生きがいがづくりの支援
(3)生涯学習の促進

掲載ページ	70	事務事業名	パソコン体験コーナー運営管理		担当課	文化生涯学習課
事業の概要	高齢者を含む市民のICT(情報推進技術)教育の推進を図る。パソコンボランティア湘南に依頼し行っているIT講習会で、3回中2回を高齢者対象として実施していくとともに、講習終了後もフォローアップ講習を行う。					
事業の目的	市民のICT(情報推進技術)教育の推進を図る					
評価の指標	IT講習会参加者数					
27年度	目標値	60人	評点	B	評価	高齢者や障害者を中心に情報化社会へ対応できるように生涯学習の一貫として実施しており順調に運営出来ているが、よりニーズを把握した講習会の内容を検討していく必要がある。
	実績	49人			今後の取組	引き続きIT講習会の開催をしていき、今後はパソコンに留まらず、様々な情報端末を活用したインターネットの活用法についても学べる機会の提供を図っていく。

掲載ページ	70	事務事業名	生涯学習の機会の提供		担当課	文化生涯学習課
事業の概要	高齢者が自己実現に向けた学習をするきっかけづくりとなる機会の提供として、各課かい及び関連団体等と連携し、シニア世代を対象として、セカンドライフを有意義に過ごすための機会提供及び事業紹介をする。					
事業の目的	高齢者がセカンドライフを有意義に過ごすための機会提供及び事業紹介					
評価の指標	シニアパワー活用事業への参加者数					
27年度	目標値	70人	評点	Z	評価	平成27年度より、生涯学習だけでなく就労支援も含めた全庁的な「豊かな長寿社会に向けたまちづくりに関するプロジェクト」が開始したため、当課での事業実施は行っていない。
	実績	0人			今後の取組	生涯学習支援者養成講座や市民講師の活動紹介を通して、セカンドライフを有意義に過ごすための方法を実践的に伝える。

掲載ページ	70	事務事業名	ちがさき丸ごとふるさと発見博物館事業		担当課	社会教育課
事業の概要	ふるさと茅ヶ崎を学び、知る機会を講座やまち歩き等の事業を通して提供する。					
事業の目的	高齢者が外出するきっかけや、ふるさとについて語る場をつくる。					
評価の指標	講座、まち歩き事業等の回数:各年度2回					
27年度	目標値	2	評点	S	評価	春期・秋期の基礎講座に加え、自主企画のまち歩き事業7本を開催。退職し、改めてずっと暮らしている茅ヶ崎のことを知らなかったことに気付いた高齢者の参加が目立つ。
	実績	9			今後の取組	継続して、講座やまち歩きを開催し、茅ヶ崎を知る機会を設けていく。参加するだけでなく、まち歩きのガイドをする側の市民の育成もしていく。

掲載ページ	70	事務事業名	大活字資料の提供		担当課	図書館
事業の概要	高齢者の生涯学習活動の支援					
事業の目的	地域の学習資源を高齢者が利用しやすくするための取り組み					
評価の指標	全蔵書数のうち大活字本の占める割合					
27年度	目標値	0.3	評点	S	評価	継続して大活字本を整備していくとともに、一般的な図書でも活字の大きさや行間などが高齢者の読書に配慮された資料についても収集し提供した。
	実績	0.34			今後の取組	今後もニーズが高まると見込まれ、継続して大活字本を整備していくとともに、一般的な図書でも活字の大きさや行間などが高齢者の読書に配慮された資料も意欲的に収集し提供していく。

掲載ページ	70	事務事業名	高齢者の学びの機会創出事業		担当課	高齢福祉介護課
事業の概要	高齢者を対象とした学習会を開催し、関心のある講義(授業)に楽しみながら参加をしてもらう					
事業の目的	社会参加・生涯学習・外出の機会創出・孤立防止・一人暮らしの不安解消・認知症予防を図るため					
27年度	評価	生きがいがづくり学習会について、試行的に家庭科と理科の2講座を開催し、高齢者の社会参加・生涯学習・外出支援を図った。				
	今後の取組	より多くの方の外出の機会創出を図るため、引き続き、生きがいがづくり学習会を開催する。				
	進捗状況	②予定どおり進んでいる				

掲載ページ	70	事務事業名	各種講座の開催		担当課	公民館(5館)
事業の概要	趣味・レクリエーションをはじめとして各種講座を開催し、自主的な学習機会を提供する。					
事業の目的	高齢者の学びに対するニーズの把握に努めるとともに、生きがいがづくりや健康づくりを支援する。					
27年度	評価	高齢者の学びに対するニーズを把握し、生きがいがづくりや体力づくりを支援するために趣味・レクリエーションなどの各種講座を開催して、自主的な学習機会を提供した。				
	今後の取組	今後も引き続き高齢者の学びに対するニーズの把握に努めるとともに、生きがいがづくりや体力づくりを支援するために趣味・レクリエーションなどの各種講座を開催し、自主的な学習機会を提供していく。				
	進捗状況	②予定どおり進んでいる				

掲載ページ	71	事務事業名	高齢者読書支援事業	担当課	図書館
事業の概要	高齢者が読書活動を容易に継続するため身近な場所で利用できるよう図書室や貸出窓口の設置を検討します。また、直接来館することが困難な方を対象に家庭配本サービスを実施する。				
事業の目的	高齢者等の読書活動支援				
27年度	評価	平成27年4月1日に浜見平地区にハマミーナ図書室を開設したほか、10月に株式会社ジェイコム湘南と協定を締結し、来館することが困難な方を対象に家庭配本サービスを本格開始しました。配送は、50回実施し延べ205人に496点貸出。			
	今後の取組	ハマミーナ図書室をはじめ、各公民館等に開設している各図書室等について、引き続き蔵書の充実を図りながら、地域の読書活動の拠点となるよう整備を進めていく。また、家庭配本サービスについても民間と連携し継続して行っていく。			
	進捗状況	①予定より早まっている			